

平山郁夫シルクロード美術館 News

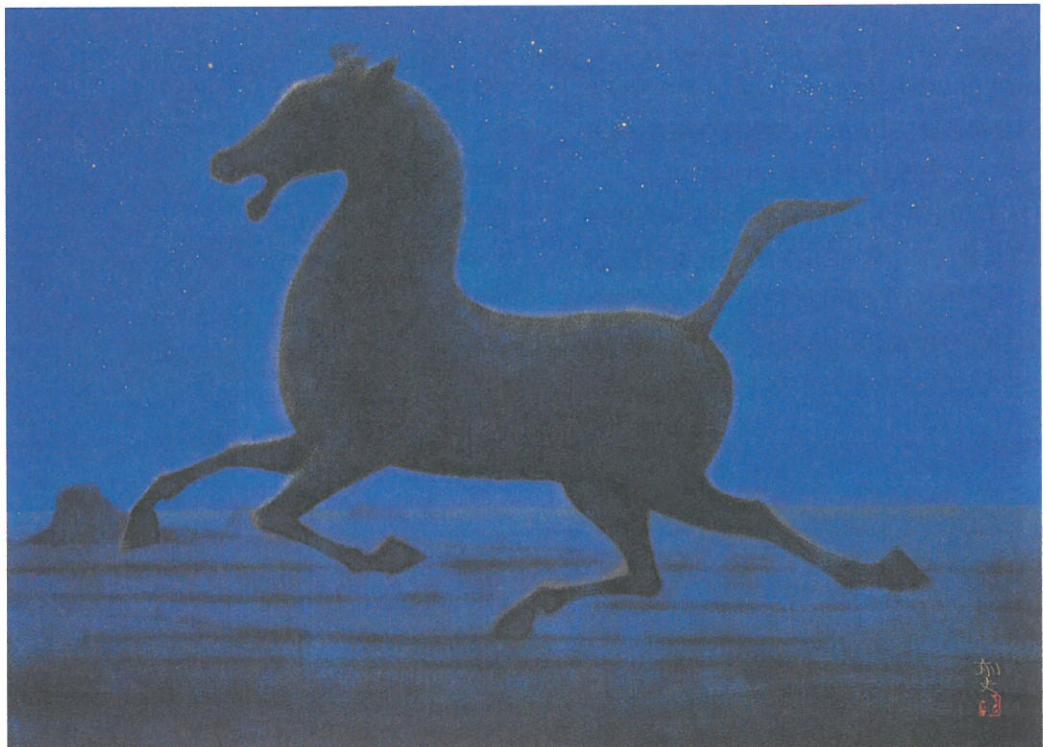
The Hirayama Ikuo

Silk Road Museum

News

No.24

2019年3月発行



《西域の馬》 72.7×100.0cm 1978年 鎌倉・高徳院蔵

平山郁夫が初めてシルクロードの旅へ出たのは、1968年のことで、この時の行き先はアフガニスタンと旧ソ連領の中央アジア（ウズベキスタン、カザフスタン）、パキスタンなどであった。この旅から8年後の1976年、中国の西方、すなわち「西域」の南道と北道（天山南路）の分岐点に位置する古代オアシス都市・楼蘭において、若い女性のミイラが発見され、世界的にも大きな話題となった。平山はこの出来事に刺激され、ミイラとなった若い女性を「楼蘭の悲劇の王女」とした上で《鄯善国妃子（楼蘭の王女）》※収蔵先は箱根・成川美術館という作品を描いた。そして、その2年後には《西域の馬》を描き、これらは共に砂漠を背景に群青で統一した作品で、当時の平山は未だ訪れることがない西域に思いを馳せながら幻想的に描いた二作品である。これらの作品のうち《西域の馬》について、画家は以下のように述べている。

「私にとっては幻想画であるが、モデルはあった。後漢時代の墓から出土した青銅の馬の造形で、右後ろ脚で燕を踏んでいる。飛行中の燕でさえ踏みつけてしまうほど速く走ることを表現しているといわれる名作である。私は漢の皇帝や將軍が手に入れたいと願つた強くて速い西域の馬を、この青銅の馬の姿に託して描いてみた。…実際に自分の足で西域の地に踏めると思わなかったからこそ、ロマンに誘われて描いたものであった。」

平山郁夫「無窮の大地中国大陆を往く」

（『平山郁夫全集 第6巻 シルクロードII』講談社・1992年）



平山郁夫シルクロード美術館

平山の大きな手(掌) てのひら

平山は亡くなつて今年10年になるのですね。

平山と私は結婚して54年。その前学校で8年も一緒でしたから、よくも喧嘩もせずに続いていたのですから、時々彼は今もすぐそばに居る様に思えるのです。

亡くなつてから平山の膨大なスケッチブック、本画の前の下図、本画等々は長男の廉と東子夫妻、美術館の館員の皆さんが整理して下さいました。私は何も出来ませんでした。

2011年1月18日から上野の国立博物館で文化財保護60周年記念として「仏教伝来の道 平山郁夫と文化財保護」展が開催されました。平山が薬師寺の高田好胤官長に絵殿に描く絵をお頼れして、平山は中国・唐時代の僧玄奘三蔵の「求法の旅路」である大唐西域壁画を描くことにしました。



2000年《大唐西域壁画》が完成、最後の一筆が入れられる。

それには21年かかり無事玄奘三蔵院に納めましたが(この様なお約束をした高田官長は平成10年6月22日に亡くなられた事は残念なことでした。)その大唐西域壁画は門外不出といつていたのを国立博物館側の交渉の結果、平成館に展示されることになりました。これは平山にとって何よりの餞贈^{はなむけ}になったと思います。この展覧会のカタログに、私がいつも平山と一緒にいたという事で、その時の思い出といった文を書くことになり、立派な先生方と並んで申し訳ないと思いながら「平山の大きな手」を書きました。広い世界には、人々が心をこめて作ったものが沢山あります。時の経過によって失われてゆくものです。自分が信ずるもの以外は認めないから破壊するといった暴挙のない平和な世界を望んでいる大きな手だと思います。

中国、日本、東南アジアの書画は紙、布に書いたり、描いたりするものが多いので、風水害や、虫害によって損なわれるものが多いので早く手を打たなければ消滅してしまうものもあります。

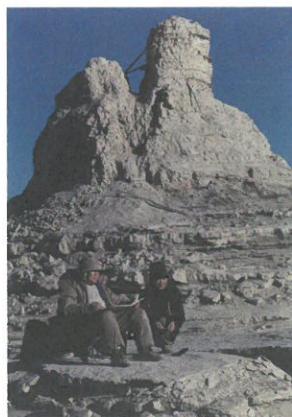
平山郁夫シルクロード美術館館長
平山美知子

病人を治療する場所が必要ですが、各国の博物館にはその余裕がないところが多いのです。大英博物館のアンダーソン館長は平山の希望を聞いて、館の外で物置場になっている処を開けて下さったので平山は床をしっかりと造りかえて、その上に日本から畳を20枚注文し取り寄せ、紙、布の修理に必要な筆、膠糊、電熱器等必要なものをすべて揃えて修理室を作りあげたのです。その費用は其の当時、何處へでも(ヨーロッパ、印度、ヒマラヤ)旅行を手伝ってくれた小川さんが平山の版画を作ったり売ったりして費用をととのえてくれたのです。その修理室の開所式は英内外の美術に関心のある多くの人々、英皇族の方も来られ盛大な開所式となりました。平山はこれがいつまで続くのかと心配はしていました。

平山が亡くなり数年後、私は友人たちと英国旅行をして、最後に大英博物館に行ったのです。アンダーソン館長は退官し、次の館長がおられ、私たちを迎えてくれました。修復室には日本人、中国人、そしてヨーロッパの国々から何人もの人が来ており、立派に活動していました。私は平山にみせたい想いで一杯でした。でもきっと平山も来ていたと思います。其処は平山が望んでいた文化財保護が生きている所なのです。此の想いが広まれば、世界の平和もあると思います。平山の大きな手がうれしそうにゆれているのではないかと思います。



大英博物館、平山スタジオの職員のみなさん
2018年の12月に届いたクリスマスカード



樓蘭遺跡

展覧会紹介

The Hirayama Ikuo Silk Road Museum
Exhibition

平山郁夫 没後10周年記念展 前編「群青の世界」展

2019年3月9日(土)～9月10日(火)



《文艺雑誌「海」表紙原画 1975年7月特大号》1975年頃

日本画家、平山郁夫が2009年12月に逝去し、早くも10年の歳月が経とうとしています。

平山郁夫は、日本文化の源流を求め、仏教伝来の道でもあるシルクロードをくまなく旅し、平和をテーマとした数々の名作を残した戦後の日本画壇を代表する画家です。

また画業のかたわら、敦煌やアンコールワット、バーミヤンなど危機に瀕した世界各地の文化財保護活動にも尽力し、ユネスコ親善大使などを歴任、79歳の生涯を駆け抜けました。

Information

◆会期 2019年3月9日(土)～9月10日(火)

※会期中無休

◆開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

◆観覧料 一般1200円／高・大学生800円／小・中学生無料
※障がい者手帳をお持ちの方無料、介護の方1名まで600円
※70歳以上の方、20名様以上の団体 各100円割引

◆主催 公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館

◆後援 山梨県、山梨県教育委員会、北杜市、北杜市教育委員会、
朝日新聞甲府総局、山梨日日新聞社・山梨放送、
読売新聞甲府支局、信濃毎日新聞社、八ヶ岳ジャーナル、
テレビ山梨、エフエム富士、エフエム八ヶ岳

2019年3月から、平山郁夫シルクロード美術館では、没後10年の節目にあわせ、その画業を振り返り、これまで展示していなかった秘蔵品や、月刊誌の表紙絵、制作資料などを織り交ぜながら、平山郁夫のいまだ知られざる絵画世界をご紹介いたします。(表紙の絵《西域の馬》も同展にて公開)

○「群青の世界」展 学芸員によるみどころ解説

日時:4月20日(土)、5月18日(土)、8月17日(土)14:00～



《佛教伝来 小下図》
1959年

次回の展覧会案内

平山郁夫没後10周年記念展 後編「悠久の旅路」



2019年
9月14日(土)～
12月27日(金)
※会期中無休

《出現》1962年
佐久市立近代美術館蔵

他会場で見られる平山郁夫シルクロード美術館コレクション

◆陝西省博物館(西安)「平山郁夫」展(仮称)(中国巡回展)
2019年3月1日(金)～6月10日(月) 内容:絵画6点、コレクション約200点

◆神奈川近代文学館「巨星・松本清張」展
2019年3月16日(土)～5月12日(日) 内容:絵画(挿絵)27点

◆新居浜あかがね美術館「平山郁夫シルクロードコレクション」展
(朝日新聞社巡回展)
2019年4月27日(土)～6月16日(日) 内容:絵画50点、コレクション180点

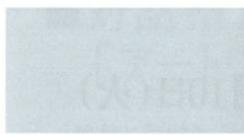
◆福屋(広島県)「平山郁夫」展(仮称)
(朝日新聞社巡回展)

2019年8月22日(木)～9月3日(火)
内容:絵画約50点、コレクション約180点

◆川越市立美術館「平山郁夫」展(仮称)
2020年1月25日(土)～3月15日(日)
内容:絵画約40点、コレクション約20点

イベント情報

平山郁夫没後10周年記念講演会 対談「平山郁夫を偲ぶ」



宮廻正明
(日本画家、
平山郁夫
シルクロード美術館
副理事長)

平山美知子
(平山郁夫
シルクロード美術館
館長)

日時：2019年6月15日(土)14:00～

※参加費、申し込み不要・聴講無料

会場：美術館 展示室6

(入館券が必要です)

没後10年を記念して、平山郁夫に師事した日本画家宮廻正明氏をお迎えし、当館の館長平山美知子との対談イベントを開催します。平山郁夫の絵画の魅力や、とっておきのエピソードなどお話しいただきます。

美術館ノート

◆第9回シルクロード研究会の報告

2月9日(土)、雪が舞う鎌倉のアトリエ(庫庵)で、第9回シルクロード研究会を開催致しました。今回のテーマは「西域壁画とシルクロードの染織作品」とし、当館が所蔵するキジル壁画断片コレクション3点と、シルクロードを象徴する連珠文が表された染織コレクション4点を取り上げました。今回の講師は、檜山智美先生(京都大学白眉センター 人文科学研究所 特定助教)と、谷口陽子先生(筑波大学 人文社会系 准教授)にお願いし、檜山先生には「クチャのインド・イラン様式の壁画と5～8世紀のシルクロードの染織について」、谷口先生には「西域壁画の彩色技法と材料－周辺地域・構造からの視点－」についてお話しいただきました。お二人の先生による研究成果は充実した内容で、当館のコレクションにまた新たな一面を見出させていただきました。講演後は、参加者全員で当館のコレクションを鑑賞し、会場にいた一同、先生方による研究成果を振り返りながら、心行くまで楽しみました。



◆第12回平山郁夫絵画教室の開催

「金箔ガラス」と「宣紙」を用いたワークショップ「ゴールドサンドイッチガラス」

平成21年、平山郁夫が講師となり小学生を対象に「絵を描く楽しさを伝えたい」をテーマに「第1回平山郁夫絵画教室」を開催しました。翌年からは、北杜市と東京藝術大学の連携協定のもと、東京藝術大学の講師をお招きして授業を行い、平成29年の長坂中学校で、北杜市内の全ての中学校を回りきることとなり、集大成として一つの区切りを迎えました。今年からは会場を小学校へ移し、「平山郁夫絵画教室」は新たなステージへ進みます。なお今年の本企画は「平成30年度文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」の補助対象事業として実施致しました。



◆対象:長坂小学校6年生 1組・2組(合同)…5、6校時 ◆実施日:2018年10月5日(金)13時45分～15時20分

◆主催:公益財団法人 平山郁夫シルクロード美術館 ◆協力:東京藝術大学、北杜市、北杜市教育委員会

◆講師:並木秀俊先生、梁取文吾先生、小林翼先生、荒殿優花先生(東京藝術大学 社会連携センター「Arts & Science LAB.」所属)



《ゴールドサンドイッチガラスの工程》

- 事前に用意した8種類の絵柄(北杜市やシルクロードに関連した絵柄)から、生徒が好きな絵柄を選んで切り取りました。
- 事前に金箔を貼り付けたガラスを用意。選んだ絵柄と金箔の間にカーボン紙(黒色を金箔側)を挟み重ね、シールで固定しました。
- 絵柄をボールペンでなぞり、絵を金箔へ写し取りました。
- 紙とカーボン紙を外し、ガラスに貼った金を、写した絵柄にそって、カッターや彫刻刀を用いて削りました。好きな文字やイニシャルを入れる等で作品の識別を行いました。

《マーブリングの工程》※作品の背景に配置する紙を作る

- 好きな色の絵具を選び、水の上にスポットを用いて絵具を1～2滴たらしました。
- 竹ひごや息を吹きかけ、そっと水面の絵具を動かし、西嶋和紙を水面に置きました。

また、日本画で使われる絵具(岩絵具)や原料となる石についての説明も行い、日本文化を子どもたちに伝え、文化を育むワークショップを目指しました。その後、作品は一度東京藝術大学へ移し、「金箔側にガラスを当て高温で溶かす」作業が行われました(サンドイッチガラスの名前の由来)。完成した作品は、木枠にマーブリングで染めた紙と共に納め完成となりました。12月13日(木)～12月27日(木)まで、当館2Fカフェ「キャラバンサライ」にて展示しました。



◆賛助会員を10年継続していただいた会員の方のご紹介

賛助会員を10年継続していただき心より感謝申し上げます。ご芳名を感謝を込めて掲載させていただきます。

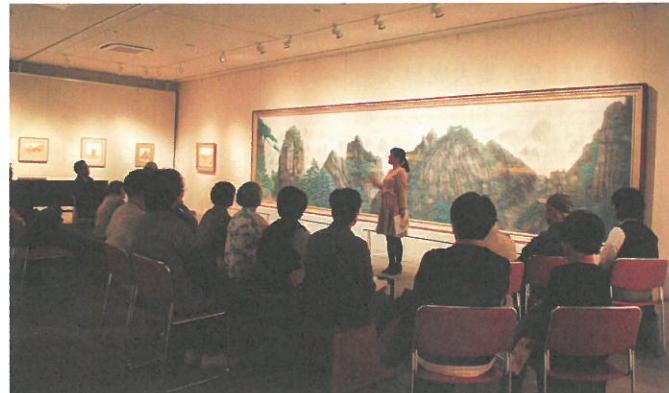
【個人会員】 齊藤 昌子様

貸し会場事業

■対話型アートプログラム 「アートリップ/認知症ケアプログラム」の開催

昨年に引き続き、北杜市が主催となり当館で「アートリップ」を2回開催しました。「アートリップ」とは、グループでアートを見て、進行役のアートコンダクターの質問に答えながら、参加者が感じたこと、思ったことを自由に発言、共有する対話型のプログラムです。自尊心が高まり、うつが軽減、QOL(生活の質)が向上すると言われています。

始まる前は不安な表情も見られましたが、体験が始まると身振り手振りで表現し、表情も和らぎ、色々な発言が出てきて話が弾んでいる様子でした。同席したご家族の方も、ご本人と同じくそれ以上に喜んでおられました。今後も継続して続けて参りたいと思います。



- 日 時:①10月11日(木)14:00~5:30
②11月 2日(金)14:00~15:30
- 対象者:認知症の方とその家族、介護者、一般市民
- 参加者:各回約30名(及び付添)
アートコンダクター:横山綾子氏、輿石美和子氏(共に北杜市在住)

■北杜ガストロノミーツーリズム

近年、観光において「地域の歴史や文化を知る、学ぶ、触れる」ことのできる旅行が人気となっています。その中でも「食文化体験」をテーマにした旅行は欧米では特に普及が進んでおり、このたび北杜市商工会が主催となり「北杜ガストロノミーツーリズム モニターツアー」が実施され、当館の2Fカフェ「キャラバンサライ」において、食事会が開催されました。

ツアには、都内の大手企業や旅行代理店など法人旅行に取り組む企業を中心に23名が参加され、午前中は「土」「水」「山」の3つのコース分かれて食文化を体験し、当館へは夕刻に来館し市内の野菜や魚を使った食事を楽しめました。

異業種と連携し、当館の施設をMICE(Meeting/会議・研修、Incentive/招待旅行、Conference(国際会議・学術会議)または

Convention、Exhibition(展示会)またはEventの4つの頭文字を合わせた言葉)としても活用して参りたいと思います。



- 日時:10月26日(金)16:00~19:00
- 場所:美術館2Fカフェ「キャラバンサライ」

■風のマルシェ

八ヶ岳南麓の人気イベント「風のマルシェ」が当館2Fカフェ「キャラバンサライ」を使って開催されました。

- 日 時:12月7日(金)~9日(日)10:00~17:00(最終日16:00)

○化石発掘体験2018



- 開催日:7月14日(土)、15日(日)、
7月21日(土)～8月7日(火)※水曜休み
- 講師:平山廉、渡部真人、大倉正敏、
宮田真也、鵜野光
- 参加者:1916名



アンモナイト発掘体験

- 開催日:7月14日(土)、15日(日)、
7月21日(土)～8月7日(火)※水曜休み
- 講 師:美術館スタッフ
- 参加者:533名

○シンポジウム

- 「東北の過去・現在・未来
—平山郁夫の絵画作品を通して—」
- 開催日:6月9日(土)
 - 講 師:加藤幸治、熊谷博史
 - 参加者:65名



○ワークショップ



- 簡単日本画ワークショップ
岳麓の春—季節を描く—
- 開催日:5月27日(日)
 - 講 師:中沢明子
 - 参加者:3名



- 恐竜ジオラマ作り体験
- 開催日:7月28日(土)、29日(日)
 - 講 師:宮沢叔恵
 - 参加者:40名



- 復元画ワークショップ
- 開催日:8月4日(土)
 - 講 師:小田隆
 - 参加者:20名



- 古代ゴールドサンドイッチガラスの技法体験
- 開催日:10月6日(土)
 - 講 師:並木秀俊
 - 参加者:17名

○トークイベント

- 鼻煙壺実演
- 開催日:11月3日(土)
 - 講 師:劉泰松
 - 参加者:40名



○演奏会

- 北杜高校ギター部
ギャラリーコンサート
- 開催日:2019年3月9日(土)
 - 参加者:190名



○第9回絵手紙コンテスト受賞作品

平山郁夫シルクロード美術館では、日本画並びにシルクロード文化の普及を目的に様々な活動を行っています。その一環として、「絵」と「ことば」による作品を広く募集し、優秀な作品を表彰する「平山郁夫シルクロード美術館 絵手紙コンテスト」を実施しています。第9回目となる昨年度は3つのテーマで作品を募集したところ174通の応募をいただきました。

- 展示期間:2018年6月9日(土)～9月11日(火)



最優秀賞 総部門
眞道 修光くん
(高根中学校2年生)



優秀賞 幼児部門
鈴木 照理ちゃん(5才)



優秀賞 中学生部門
村松 航くん
(高根中学校2年生)



優秀賞 小学生部門
清水 葉太くん
(新宿区立淀橋第四小学校3年生)



優秀賞 大人部門
原田 尚代さん

2019年上期 開館カレンダー

4 April							5 May							6 June						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
28	29	30					26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29

7 July							8 August							9 September						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6					1	2	3		1	2	3	4	5	6	7
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	31	29	30					

3/9～9/10 平山郁夫没後10周年記念 前編「群青の世界」展

9/14～12/27 平山郁夫没後10周年記念 後編「悠久の旅路」展

7/13、14、7/20～8/4 化石発掘体験

7/13～9/1 夏休み特別コーナー展示「徳川広和・立体でよみがえる古代生物の世界」展

※9/11～13 展示替えのため休館

※4月～8月は休みなく開館

※冬季及び展示替え期間は休館

賛助会
だより

賛助会会員募集

賛助会は美術館の活動を支援するとともに、会員の皆様の交流をはかることを目的として発足いたしました。皆様から寄せられました会費は、展覧会の開催、講演会・講座の開催、国際交流、美術館の維持管理などに使用されます。賛助会員にはさまざまな特典（詳しくは美術館HPをご覧ください）のほか、交歓会等イベントも予定しております。皆様のご入会を心よりお待ち申し上げております。

◆会 費 個人会員…… 10,000円
家族会員…… 15,000円
法人会員…… 100,000円

◆受付期間 随時受け付け（毎年7月に更新。12～3月までにご入会の方は初年度の年会費は半額、4～6月ご入会の方は翌年6月末日まで有効）。

◆申込方法 申込用紙に必要事項をご記入のうえ美術館にご郵送いただき、所定の銀行口座に会費をお振り込みください。申込用紙ご希望の方は、美術館HPからダウンロードするか、美術館にご請求ください。

お知らせ

収蔵品閲覧システムを導入しました

2階カフェにて当館の所蔵する資料（一部）を閲覧できるシステムを導入し、所蔵品約10000点の中から選りすぐりの171点をご覧いただけます。タッチパネルで画像を拡大すると展示でもなかなか見ることが出来ないくらい細かいところまで見る事が出来ます。是非調べ物や研究にお役立て下さい。



新スタッフ紹介

2018年4月より、美術館に勤務しております渡辺江奈子と申します。以前受付アルバイトとしてお世話になつており、懐かしい職場に戻つて参りました。

今は、庶務全般を担当しております。裏方として皆様にとって気持ちの良い環境を作つていければと思っています。たまに受付やカフェにも立ちますので見かけたら是非お声掛けください。



平山郁夫シルクロード美術館

平山郁夫シルクロード美術館ニュース 第24号 2019年3月発行

発行 公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館

〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間2000-6

Tel 0551-32-0225

URL <http://www.silkroad-museum.jp>



ミックス
负责任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C023103